

名古屋市こころの絆創膏キャンペーン活動報告

令和7年3月10日
社会奉仕委員 奥村 恭子

平素は、港鯨城会のボランティア活動にご協力賜りましてありがとうございます。下記の内容で自殺予防週間にあたり、名古屋市主催の「こころの絆創膏配布ボランティア活動」に参加しました。

記

1. 日 時 令和7年3月4日（火） 8時00分～9時00分
2. 配布場所 JR金山総合駅コンコースおよび周辺
3. 内 容 市内8区の鯨城会が参加（各区鯨城会4名程度）して、それぞれ指定された場所に行き、「名古屋市からのこころの絆創膏」と声かけ、一人100枚ずつ配布しました。なお、夕方の時間帯には他の8区の鯨城会が活動をされました。
4. 参 加 者 26期：石川 東一、32期：馬場 田鶴子、34期：野坂 秋美、
37期：田中 しのぶ（敬称略）

8時から各々決められた場所に行き“こころの絆創膏”を配布しました。霧雨の中、金山駅北のバス降車場の近辺で受け取りを断られる方が多い中、何とか30分超で配り終わりました。市の土地とアスナル金山の私有地の堺でしたので、ガードマンから二度ほど注意を受けました。我々の配布後もまだ配布している区の方がありほっとしました。初めて配布のボランティアをした田中さんはドキドキして頑張ってくださいました。

